

# まちのスケッチブック

夢をかたちに…あたらしいまちづくり

VOL.24

府立大学移転  
について

ちよまつ ひろやす  
泉佐野市議会議員 **千代松 大耕** (30歳)



**りんくうタウンに賑わいを！！**

において要望事項を作成し、事務局が取りまとめます。私は泉佐野市から要望事項を提出するときの作成に毎年携わらせてもらっていますが、その中心となってくるのは、やはり「関西国際空港」と「りんくうタウン」の活性化についてであります。(表1参照)

現在、堺市以南の保守系の市町議会議員で「南大阪振興促進議員連盟」を構成し、毎年、南大阪地域の振興のため、国や大阪府に対して予算編成時の要望書を提出しております。その要望書の内容は、各自治体

港の補完機能として整備されましたが、ブル崩壊後の長引く景気低迷で、思うように企業進出が進んでおらず、現在も空き地があちこちで目立っています。そういった状況の中で、りんくうタウンの土地の持ち

主である大阪府としても、何とかりんくうタウンに賑わいを創ろうと現在も色々な施策を打ち出しております。

その大きな柱の一つとして、大阪府立大学農学部のリんくうタウンへの移転構想があります。大阪府立大学は現在、堺市の中百舌鳥にキャンパスがあります。今後、政令指定都市を目指す堺市は総合的なまちづくりの観点から一つの学部とはいえ、移転するということに対しては強固に反対しております。堺市長や堺選出の府会議員は大阪府に対して、この移転構想に反対の活動を続けています。

表1

## 「関空・りんくうタウン関連の平成17年度 予算要望事項」

### ●りんくうタウンの整備

- ★りんくう公園のマーブルビーチにおきましては、大理石の海岸で魚が育つ環境が整わないため、生態系に配慮した海岸整備を図りたい。また大理石を敷き詰めた海岸は子供や老人、車椅子での利用が困難なため、改善措置を図りたい。
- ★りんくうタウンの今後の事業遂行にあたっては、土地利用の促進とともに、緑地整備の早期完成を図るなど、これまでの経過を踏まえ、街の早期成熟に努められたい。

### ●関西国際空港関連地域整備について

- ★空港地元にあつかわしい地域の整備について関空事業等の推進に果たしてきた役割を踏まえ、総合的な観点に立って特段の配慮を講じられたい。

### ●雇用対策について

- ★関西国際空港の対岸地域である南大阪で、空港関連企業への雇用の創出を図るため、地元住民の積極的雇用の支援策を確立されたい。とりわけ就職困難者の雇用の安定が図られるよう措置を講じられたい。

### ●下水道事業について

- ★関西国際空港の対岸地域としてふさわしい環境インフラ整備を図るため今後とも下水道の整備に必要な事業費を確保するとともに、国庫補助対象範囲をさらに拡大されたい。

しかし泉佐野市としては、この大阪府立大学農学部の移転構想はりんくうタウンの賑わいづくりに対して、この上ない話であり、また常々、りんくうタウンを活性化させるには大学など、人が恒久的に集まってくる施設が必要であると提唱してきた私にとりまして是非とも実現させたい話であります。私はこの府立大学農学部の移転に対しては、泉佐野市としても、「積極的に誘致活動をし、実現に向けていくべきだ」と、この構想が上がった2年前から議会で提言して参りました。そしてこの2月に大阪府はとりあえず農学部の大学院のみを移転させることを検討しているといった報道がありましたので、3月議会におきまして「府立大学移転について」を質問いたしました。

# \*\*\*「府立大学移転について」\*\*\*



千代松・・・去る、2月26日に大阪府が大阪府立大学の農学生命科学研究科をりんくうタウン北地区に移転する案を検討しているとの報道があった。府立大学農学部への移転は一昨年の11月に大学内でりんくうタウンへの移転を決定していたが、堺市や堺選出の府会議員らの反対で結論が出ておらず、調整が難航していた。そういった中で今回の報道である。そこで現在はどうのような状況となっているのかを尋ねる？

答 弁・・・府立大学農学部の移転については、大学全体のキャンパス展開のあり方、りんくうタウンのまちづくり、学生生活への影響など総合的な観点から検討が進められている。

泉佐野市としては、移転によって、新しい産業育

成や賑わいづくりが期待でき、りんくうタウンの熟成に資すると考えられることから、食品コンピナートの企業、農協、泉南地域の自治体と連携しながら、是非とも移転を実現すべく、大阪府に対して強く働きかけてきた。その結果、大阪府では「学部は中百舌鳥、大学院はりんくうタウンで展開」という案が妥当ではないかということになり、大学に対して意見を求めていると聞いている。その理由として

▽学部については、総合大学としてのポテンシャルを活かすため中百舌鳥にとどめるが、大学院がもつポテンシャルを最大限発揮できる場所としては、りんくうタウンが望ましい。

▽検疫所や感染症センターなど、水際での輸入商品の安全確保や感染症対策などを行う機関との連携によって大学院のポテンシャルを発揮できる。

▽食品コンピナート企業などとの協同研究の推進等によって、大学としても高い研究成果や特許取得の可能性が高まる。

▽農学部との協同研究の実績のある複数の企業が、りんくうタウンへの移転を前向きに検討したいという意向を示しており、それらの実現で産業活性化も期待できる。

などがあげられている。今後、大阪府においては、大学の意向を聞いた上で、地元市等の意見を聞きながら、さらに詳細な機能分担のあり方や課題についての検討を深めていきたいと聞いている。

\*5月に開催されました府議会で、府立大学農学部の大学院のみを移転する府の提案を、府立大学側が基本的に受け入れていると、太田府知事が答弁いたしました。



## 千代松大耕プロフィール

- 1973.10.3 泉佐野市松原生まれ
- 1986.3 泉佐野市立第一小学校卒業
- 1989.3 泉佐野市立佐野中学校卒業
- 1992.3 同志社香里高等学校卒業
- 1996.3 同志社大学経済学部卒業
- 1998.7 Lincoln University MBA 取得
- 2003.3 大阪府立大学大学院修了
- 2004 和歌山大学大学院在学中
- 1999.4 株式会社 堀場製作所 入社
- 2000.2 泉佐野市議会議員初当選
- 2002.5 泉佐野市議会議員2期目当選
- 2004.5 第61代泉佐野市議会副議長就任

### 【現在】

- 泉州南合併協議会委員
- (社) 泉佐野青年会議所理事
- (NPO 法人) 大阪夢づくり協議会理事
- 泉佐野市バレーボール連盟会長
- 同大アメフト部 OB 会常任理事
- 自由民主党泉佐野支部政務調査会長

## 5月臨時議会

去る5月20日に開催されました臨時議会におきまして、泉佐野市議会議長に中林順三氏が選出され、私は副議長に選出されました。「財政非常事態宣言」や「市町村合併」など泉佐野市が重要な局面をむかえているときに、この大役を仰せつかったことに対して、今一度、気を引き締め直して、さらなる市政発展に傾注していく所存です。

連絡先 泉佐野市松原2-5-31  
TEL 58-1708  
FAX 69-0311

ホームページ <http://www3.ocn.ne.jp/~chiyo51/>  
メール [chiyoma51@hotmail.com](mailto:chiyoma51@hotmail.com)  
発行部数累計 343,000部 2004.6第24号

\*「まちスケ」のバックナンバーが必要な方は連絡ください。